

## Cさん（高次脳機能障害・新規就労②）

### ①どんな生活をするか考えよう（就労支援課：職業相談・職能評価）

Cさんは脳出血後、高次脳機能障害が後遺症として残り、それまでの仕事は退職しました。退院直後に職業相談・職能評価を行いました。後遺症の影響により働くことはまだ難しく、また体力も落ちていたことから、中途障害者地域活動センターで自分のペースでスキルアップを図り、力を付けてから就職を考えることにしました。

### ②自分の働く力を知ろう（就労支援課：職業相談・職能評価）

中途障害者地域活動センターに週5日通えるようになり、再度職業相談・職能評価を行いました。以前よりも処理速度や正確性に向上が見られていました。色々な職能評価を行う中で、事務作業よりも単純反復作業のほうが、やっていて楽しいと感じました。

### ③働く力を向上させよう（就労支援課：通所プログラム）

週5回、通所プログラムへの参加を開始しました。これまでは椅子に座って作業することが中心でしたが、今後の就職先を想定して、立位での作業を行い、体力アップを図りました。集団作業として清掃や園芸を行い、周りとうまくコミュニケーションをとって仕事を進める方法を身につけました。また受付・販売も経験し、臨機応変な対応もうまくできるようになりました。

### ④自分に合った働き方をしよう（就労支援課：就職活動）

ハローワークに登録しました。フルタイム働くのは体力的にまだ大変だったため、短時間のパートタイムの求人を探すことにしました。その後、ハローワークから紹介された販売補助の求人に応募、面接と職場実習を行い、就職が決定しました。職場の上司とは、体力を見ながら、余裕が出てきたら勤務時間の延長も検討しましょう、と相談しています。